

清月記 SPECIAL対談 岩崎恵美子さんが語る「女性の生き方」

第45回

新型インフルエンザ対策の第一人者の岩崎恵美子さん。仙台市副市長時代には、感染対策として独自の仙台方式を策定、これが全国の新しい指針となった。「人生は3回あるのです」と語ります。



やりたい時が自分の「いい年」です

新型インフルエンザ対策で 全国初の「仙台方式」導入

菅原 岩崎さんは、新型コロナウイルスなど感染症の専門家として、よく知られています。仙台との接点は何だったのですか。

岩崎 20年前以上になりましたが、1998年に厚生労働省仙台検疫所長として、塩釜市に赴任したことです。当時、SARS（新型肺炎）の国内感染を防ぐため、八戸港で船舶検疫などを指揮しました。その後、07年から2年間、当時の梅原克彦仙台市長の下で副市長として危機管理と経済を担当しました。

菅原 危機管理というのは。

岩崎 09年早々に新型インフルエンザが中国で大発生、国内で流行した時の感染対策が国家的課題でした。私の役



菅原 裕典 すがわら・ひろのり

1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とすがわら葬儀社設立。1991年、（株）すがわら葬儀社の組織変更。2000年エボックせんだい設立。2001年より（株）すがわら葬儀社代表取締役。2001年せんだい泉エフエム放送取締役。2001年4月より社会福祉法人 無量壽会理事長就任。2010年（株）清月記に社名変更。2011年5月認定NPO法人 J E T O みやぎ理事長就任。2015年1月仙台市青葉区木町通「仙台迎賓館 斎苑」運営。2015年7月、国際ロータリー第2520地区ガバナー就任。2019年4月宮城県空手道連盟会長就任。

目は、もちろんその感染症から仙台市民を守ることでした。私はこれまでの知見や経験から、独自の仙台市新型インフルエンザ対策 メディカル・アクションプログラムを策定しました。

菅原 後から、マスコミから仙台方式と呼ばれることになりましたね。

岩崎 その時の国の行動計



タイ・マヒドン大学の熱帯医学ディプロマコース卒業式で。同級生と

画では、発熱外来の設置が既定路線となっていた中、私はまったく違う方式を考えていました。患者さんを一カ所に集めて治療する発熱外来を設けたら、多くの人が殺到してその機関が機能しなくなるのは目に見えていたからです。

私は、副市長に就任してから2年間をかけて市内にある一般医療機関の全面協力を得るため、仙台市医師会にお願いしていました。軽症であれば、かかりつけの医療機関に診てもらい、タミフルを処方してもらい、早く治療をして自宅待機してもらった方が感染拡大防



2000年、WHOの派遣要請を受け、ウガンダの現地地でエボラ出血熱の診療・診察・調査活動を行う

止になると考えていました。菅原 岩崎さんが、多くの感染症の流行を体験して、その準備を整えていたのですね。

岩崎 その年の6月には、WHOが各国での流行が一向に衰えを見せないため、パンデミックフェーズ6を宣言、日本では1週間後、一般の医療機関でも診察を行うことを明確にした運用指針を発表しました。仙台方式の正しさが証明されました。正直とても不安ではありましたが、皆さんよく頑張ってくれました。

新型コロナウイルス対策は「とにかく手を洗うこと」

菅原 今、まさに新型コロナ

な感染症対策が求められています。

岩崎 新型コロナウイルスのCOVID-19は、風邪症候群、SARS、MARSなどコロナ感染症の仲間です。肺炎を起こし重症化しやすい点で、SARSと似ています。

このSARSもMARSも肺炎を起こす以外に、必ず下痢をします。今回の新型コロナも同様、ウイルスが便から出て、そこから感染拡大するケースが多いのです。便をした時、ウイルスが手について感染する可能性もあるので、感染対策はとにかく手を洗うことに尽きるのです。

「人生は3回ある」を実践。50歳過ぎて熱帯医学を志す

菅原 岩崎さんは50歳を過ぎて医師生活を捨てて熱帯医学を志します。

岩崎 医者の方と一緒にアメリカに留学、私はペンシルベニア大学で勉強したのですが、ポーランド人の教授から、「人生は1回しかないが、25年ずつ分けて生きると、3回人生がある。最初は自分のために、2回目は家族のために、そして3回目は社会のために」と教えられ、それを実践したいと思っていました。

ところでコロナ感染対策で、ステイホームの文字がテレビでよく流されていますが、とても上から目線で嫌なのです。それに心がけない。人と人のつながりは、一体どこにあるのでしょうか。それと、日本人の知識はテレビがらが多く、とても情けないと思います。

菅原 ステイホームではなく、エンジョイホームです。よく、エンジョイホームです。



新型インフルエンザ対策の第一人者として、岩崎さんの最前線の攻防を描いたノンフィクション。大宅賞作家の小林照幸氏著。角川文庫から2020年5月に第4版が発行された。



岩崎さんの古希のお祝い。家族とともに

ね。ところで、岩崎さんはいつもお洒落で、素敵ですね。岩崎 自分がどう見られたのか、それを選ぶのも自分。お洒落はそれを示す手段だと

菅原 ありがとうございます。岩崎 「いい年をして」という表現がありますが、そうではありません。やりたい時が自分のいい年なのです。貴方には、チャンスはいつでもあります。それは年齢ではないのです。

菅原 ありがとうございます。岩崎 「いい年をして」という表現がありますが、そうではありません。やりたい時が自分のいい年なのです。貴方には、チャンスはいつでもあります。それは年齢ではないのです。



岩崎 恵美子 さん
いわさき・えみこ

- 昭和19年(1944年)3月8日、父・桶谷勇策氏、母・千恵子さんの医師一家の長女として、群馬県高崎市で生まれる。76歳。父は軍医として中国で従軍、帰国後群馬県高崎市の病院の耳鼻科医として勤務。
- 新潟時代には横田めぐみさんと同じ寄居中学校に通う。「医者になると親は喜ぶだろうなあ」と、新潟大学医学部へ。
- 新潟臨港総合病院耳鼻咽喉科医長として勤務後、「日本では遅れている感染症対策の重要性を感じ」、1996年タイ国MAHIDOL大学で熱帯医学を学ぶ。2000年には日本人として初めてウガンダ現地でエボラ出血熱を間近で診療。FIFA日韓サッカー大会時にはバイオテロ対策責任者に。
- 2007年から仙台市副市長として危機管理と経済を担当。現在は(株)健康予防政策機構代表として、産業医業務と感染症に関する講演などをこなす。

Early Geihinkan
錦ヶ丘 アーリー迎賓館

RISTORANTE NISHIKIGAOKA

リストランテ錦ヶ丘
本場イタリアレストラン

〒989-3123 仙台市青葉区錦ヶ丘9丁目1-1
TEL.0120-20-1985 定休日/火曜日
https://earlysendai.com

清月記 斎苑 ファミリー しゃぶしゃぶ しゃぶしゃぶ しゃぶしゃぶ しゃぶしゃぶ

石仲 SEKISHIN ザ・ロイヤルハイヤー KIDS DUS 和食のふりかき 和食のふりかき

スガワラホールディングス
〒983-0035 仙台市青葉区日町2丁目5番4号 TEL.022-782-5777